

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	交流・環境		責任者	港営部 関連事業担当課長	
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		連絡先	052-654-7836	
事務事業名	名古屋港ポートビルの管理・運営		連携課		
目的	対象(誰・何を)	広く一般の利用者	事業期間	平成18年度～継続	
	意図(どういう状態にしたいか)	海事に関する知識の普及により、海事思想の高揚を図ります。			
概要	定期的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。		根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例 名古屋港ポートビル条例	
活動内容	指定管理者に対して、定例的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行っています。また、平成27年度に南極観測船ふじは開館30周年を迎えることから、記念事業を実施しました。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
				関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	138,867	118,600	186,574	148,014	事業費には、本組合が実施した施設の工事費を計上しています。
人件費	千円	4,205	4,228	4,281	4,238	
合計	千円	143,072	122,828	190,855	152,252	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
定例会議・モニタリング回数(回) (単年度管理型)	目標	-	24	24	24	毎年度、定例会12回、モニタリング12回することを想定し、目標設定		
	実績	29	24	24				
事業進捗状況(27年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
ニュースリリース数(件) (単年度管理型)	目標	-	17	17	17	イベントや企画等のニュースリリースを発行した件数。直近3か年の平均値		
	実績	17	14	17				
事業進捗状況(27年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	南極観測船ふじの開館30周年に伴い、話題を提供できたこと等により、概ね目標を達成できました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○					海事に関する知識の普及は、本組合として必要と考えます。また、広く一般の利用を対象としており、ニーズに応えています。	
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					海事に関する施設の展示を通じ、港湾管理者として海への親しみと知識の普及を促します。	
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○					施設の維持修繕等は優先順位を定め、最小のコストで最大の効果が得られるよう努めています。	

4 ACTION(取組)

課題	28年度以降の取組
さらに多くの人々に利用してもらえるよう、話題提供等の利用促進の取組を強化する必要があります。	モニタリング等を強化し、施設の良好な維持管理に努めるとともに、積極的なニュースリリースを行ってタイムリーに情報提供するよう、指定管理者に対し指導・助言を行います。